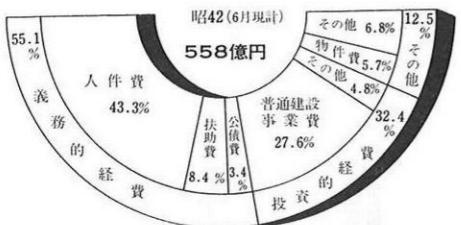


空港建設事業と並び、県勢発展の一翼を担う九州縦貫自動車道の建設も熊本以北の用地買収を完了し、一部建設着工の運びとなる。このほか道路関係の事業は、国の補助事業が大きく期待できないので、県単独事業を大きく伸ばし前年度の倍額の予算を計上して道路整備を積極的に促進していく。

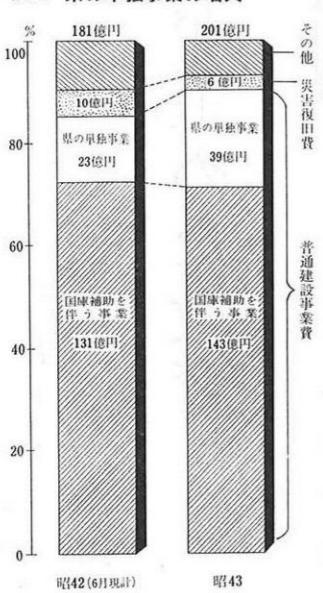
産業の近代化

（単位：百万円）	空港建設の促進	一、〇一四
単県道路改良事業の倍増	四六三	
舗装率の向上	一、六四五	
河川開発による 水資源の高度利用	一、四七八	

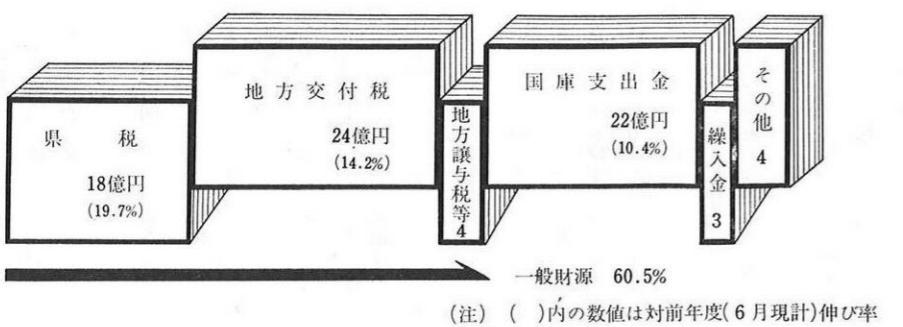
生活保護の充実	一、五六七
△衛生対策	△
成人病対策の充実	二九
保健所の改築整備	三七
野犬対策の強化	三一



(図2) 墓の単独事業の拡大



(図3) 歳入予算増加額(75億円)の内訳



を歳入面からみると、県税百七億円、地方譲与税十八億円、地方交付税百八十九億円、国庫支出金二百三十二億円、使用料・手数料十三億円、財産収入十億円、諸収入三十六億円、県債七億円、その他約十六億円という構成になっている。

このうち、前年度（六月現計）と異なる点は、主な特徴は、県税（一九・七%増）

を中心として一般財源が一八・二%の増となり、交通安全対策特別交付金八千万円が見込まれている。これらの財源は、道路関係予算の単県事業などに充当し、投資事業の積極的予算となつたことである。

生活保護の充実……………一、五六七
△衛生対策▽
成人病対策の充実……………二九
保健所の改革整備……………三七
野犬対策の強化……………三一

県民所得の増大を図るための産業の近代化について、まず農林漁業の基盤整備及び近代化を強力に促進しているが、ほ場整備、樹園地造成、草地改良など開発しうる幾多の潜在能力があるので、これを積極的に開発推進し、一方農林漁業者に対する金融対策も大幅な拡充をはかり、生産農協確立のための近代施設に対して助成を行なっていく。

また、県内事業所の大部分を占める中小企業対策が年々重要度を増しているが、これに伴なつて中小企業の診断、指導などを総合的に行なうため、その総合指導

所を開設させ、労働生産性の向上と経営の健全化を図るよう指導を行なつて行く。このほか金融対策の強化、雇用サービスセンターの業務開始、中小企業者向け住宅の建設をはかる。

工業の振興については、近代的な中小企業の技術援助センターとして工業試験場を整備し、主軸業種についての巡回指導を行なうほか、工場の誘致について優秀な工場の誘致につとめ、工業開発を通じて県経済の拡大発展をはかつていく。

漁港整備……………五三一
冷水魚試験地の建設……………一七
のり施肥事業の実施……………三
中小企業対策▽
中小企業総合指導所の設置……………二二
工業試験場の移転新築……………一三九
中小企業巡回指導の実施……………三
中小企業金融対策の強化……………一〇八九
雇用サービスセンターの業務開始……………四
中小企業就業員住宅の建設……………六七

■生活環境の整備

に、生活環境の整備のための交通安全施設の整備につき格段の配意を行なつていく。また、重度精薄児の収容棟を設置するほか、母子福祉、老人福祉対策などきめの細かい行政に意を用い、さらに胃がん検診、その他成人病対策の充実、保健所の整備、献血制度普及等衛生行政を推進して、県民が健康で明るい生活を楽しめるようつとめていく。

▽交通安全▽

交通安全対策の推進……………三四六

警察機動力の強化……………七

▽住宅対策▽

重度精薄児収容棟の建設……………一四

身体障害者福祉対策の強化……………八八

母子福祉貸付金の増額……………五二

公営住宅の建設……………二五六

経済開発の推進力となる人づくりについて、教育の振興に特に力を入れていく。特に学校施設整備については第一、鹿本、多良木高校の移転新築を終り、能本ろう学校の移転新築をはかるほか、不足教室の整備、体育館、集会場、寄宿舎などについても建設促進をはかっていく。そのほか特殊学級の新增設、体育振興など重点的に予算を計上してその充実をはかる。

一方産業教育については職業訓練所などの充実、農業講習所の定員増を行ない農業技術者対策を講ずるとともに、自立経営教育の推進並びに職業訓練の強化をはかっていく。

△交通安全▽	交通安全対策の推進……………三四六
△住宅対策▽	警察機動力の強化……………七
△公営住宅の建設……………三五六	身体障害者福祉対策の強化……………八八
△社会福祉対策▽	重度精神障害児収容棟の建設……………一四
△母子福祉貸付金の増額……………五二	母子福祉貸付金の増額……………五二